

羅 針 盤			関係する分掌	方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目			自己評価	外部アンケート	改善策	自己評価	外部アンケート	改善策
I 生徒の地域における豊かな生活の実現に向けて努めていますか。	1 保護者、地域、関係機関に学校の教育活動について、具体的に伝えてありますか。	①学校公開を年間4回実施し、来校者の90%以上が満足している。	教務企画	<ul style="list-style-type: none"> 学校公開日、こうよう祭、体育祭等を設定し、授業の様子や学習の成果を紹介する。 学校公開は、保護者向けと地域・関係者向けとを分けて実施する。 						
		②Webページや学校からのたより等で情報発信を行い、保護者の90%以上が満足している。	情報管理							<ul style="list-style-type: none"> Webページや学年通信等で学校の様子を紹介する。 学校からのたよりについては、生徒の様子を的確に伝えられるよう、紙面を工夫する。
	2 保護者、地域、関係機関との共通理解が深まり、有効な支援が行われていますか。	③「個別の教育支援計画」について、保護者の90%以上が内容に満足している。	学習	<ul style="list-style-type: none"> 保護者面談及びケース会議等において、「個別の教育支援計画」の内容について、合意形成を図る。 						
		④交流及び共同学習について、年1回以上実施し、保護者や関係機関の90%以上が満足している。	交流教育							<ul style="list-style-type: none"> 学校間交流を実施し、活動の様子をWebページや学年通信、保護者会、学校評議員会等で知らせる。
II 地域の特別支援に関するセンター的な役割を果たしていますか。	3 障害のある児童生徒の教育について、助言援助に努めていますか。	⑤地域の高等学校等の求めに応じて相談・支援等を100%実施する。	コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> 相談依頼内容に応じて日程調整を速やかに行う。 各高等学校のニーズに沿ったアドバイスができるように、学校風土なども理解しながら柔軟な姿勢で相談に当たり、実践可能な支援方法をアドバイスするよう努力する。 						
		⑥学校参観日・相談日を中心に本校への来校者を積極的に受け入れ、来校者の90%以上が満足している。	コーディネーター							<ul style="list-style-type: none"> 地域の小・中・特別支援学校に対して、開催日を通知する他、複数回参加可能なことを伝えたり、開催日以外にも対応できる柔軟な受け入れ態勢であるということも伝える。
III 生徒一人一人の実態に応じた適切な指導をしていますか。	4 個に応じたきめ細かな指導を行っていますか。	⑦「個別の指導計画」の内容について保護者の90%以上が満足している。	学習	<ul style="list-style-type: none"> 保護者面談等で「個別の指導計画」について話し合い、共通理解を図る。 						
		⑧運営委員会、学年会等において生徒の情報交換を毎回実施し、全職員で必要な情報共有をしている。	生活指導							<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会や学年会において、生徒の様子について情報交換をする機会を毎回設定し、職員会議等で全職員にその内容を周知する。 必要に応じて朝会で連絡し、全職員で共通理解を図る。
		⑨生活習慣の定着を図るための家庭と学校が連携した取組に保護者の80%以上が満足している。	生活指導							<ul style="list-style-type: none"> 「あたりまえだけこの10カ条」を活用し、月別重点項目を設けたり保護者会で活用の周知をしたりするなど、学校と家庭の連携を強めながら、卒後の自立に必要な生活習慣の定着を図る。
		⑩学校いじめ防止基本方針に基づいた本校の取組に対して、保護者の90%以上が満足している。	生活指導							<ul style="list-style-type: none"> 保護者会やPTA総会などでいじめ防止基本方針について周知し「いじめのサイン早期発見シート」の配付や相談窓口情報の提供を定期的に行う。 生徒同士のトラブルについては些細なものも担任、学年、生徒指導が情報を共有すると共に、関係する保護者への情報提供を滞りなく行うことで、いじめ防止に関わる指導について十分な理解を得る。
5 指導内容の確実な定着を図る授業が行われていますか。	⑪授業改善のための研究授業・授業研究会・研修会等を年間3回以上実施している。	教務企画	<ul style="list-style-type: none"> 研修係が中心となって、研究授業・授業研究会・研修会等を計画・実施する。 一人3回以上他の教諭の授業を参観し、参観後は、授業者と意見交換をする。 							

IV 健康や安全の確保に努めていますか。	6 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。	⑫生徒一人一人の健康上の配慮や対応について、保護者の90%以上が満足している。	保健指導	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の健康観察及び衛生検査を実施して、生徒の健康状態の把握と管理、生活習慣の確立に努める。特に学校生活で配慮が必要な生徒は、医師の指導に基づき、保護者と連携して適切な健康管理に努める。 					
		⑬健康診断終了後、受診が必要な生徒の受診率が80%以上である。	保健指導	<ul style="list-style-type: none"> 疾病疑いのある生徒に、結果受理後速やかにその結果を通知する。 疾病を持つあるいは疾病疑いのある生徒（受診勧告者）の受診状況等を把握し、保護者及び担任に、受診率等を年に3回以上報告する。また、保護者面談等を活用し、受診や治療を個別に勧める。 					
	7 危機管理体制が確立され、緊急時への備えができていますか。	⑭危機管理マニュアルをもとに、緊急時の対応策（避難訓練）を年3回以上実施している。	安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルの充実を図るとともに、避難訓練や職員研修の実施を年間計画の中に明確に位置付ける。 					
		⑮危機管理に関する職員研修を年3回以上実施している。	安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 普通救命講習（AEDの扱いを含む）や不審者対応等の職員研修を関係機関と連携、協力して行う。 危険箇所や危険状況が確認された時、初期対応を直ちに行う。 					
V 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	8 キャリア教育の視点から、指導内容を整理して系統的な指導を行っていますか。	⑯進路学習について、進路講演会等を年5回以上実施し、保護者の90%以上が満足している。	進路対策	<ul style="list-style-type: none"> 進路講演会や生徒が体験的活動ができる機会を、年5回以上実施する。 学年主任会議で学年間の情報交換を適切に行う。 					
	9 保護者、関係機関との連携のもとに発達段階に応じた進路指導を行っていますか。	⑰進路先や関係機関との連携について、保護者の90%以上が満足している。	進路対策	<ul style="list-style-type: none"> 支援協議会に進路指導主事が出席し、地域の障害福祉サービス事業所等と情報交換ができるようにする。電話や電子メール、ファックス等にて情報収集に努める。 ハローワーク、労働政策課、障害者就業・生活支援センター（わーくさぼーと）と共催で企業向けの学校見学会を実施する。 					